



# はくろ（白鷺）の散歩VI

令和7年3月10日  
～校長室の窓から～ 令和6年度 No.21  
神奈川県立平塚中等教育学校  
校長 松本 靖史

## 【課題研究中間発表会】

令和7年3月6日（木）の午前中に、4年生の課題研究の中間発表会を開催しました。今年度から4年生の課題研究は「じぶんラボ」と称し、「社会との関わりを通して自己理解を深めること」を目的とした課題解決型学習としました。生徒たちは4月～6月のタームA、7月～11月のタームB、11月～1月のタームCの3つに分けて、少人数のグループで学習を進めました。



6日は、3年生も参加して4年生の発表を聞き、質疑応答を行いました。今年度は改善の1年目ですので、次年度に向けて内容が充実することを期待しています。

## 【4・5年生対象勉強法ガイダンス第2弾】

令和7年3月7日（金）の放課後に、本校キャリアグループ主催の4・5年生対象勉強法ガイダンス第2弾が開かれました。生徒たちは、東京科学大学、東京大学に在学中の2名の8期生の先輩方から話を聞くとともに、質疑応答が行われました。私は、質疑応答から様子を見ましたが、卒業生2名の次のような分析やアドバイスに目を見張りました。

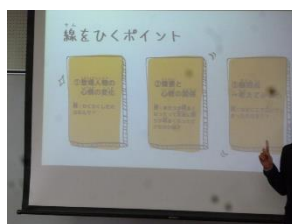
- ・「勉強している中で、できない問題に出会ったら、（本番の入試で出会うよりも）ラッキーと思っていた。」
  - ・「東大の数学の問題は、本質的なところをついた問題が多い。」
  - ・「最初の頃は、数学の問題がなかなかできなかったけど、数学の問題を解くのが楽しかった。」
- こういったアドバイスをくれる先輩方から、少人数で直接話を聞ける在校生はとても幸せだと思

## 【「こども大学」開催】

令和7年3月8日（土）に、4年生のじぶんラボで、株式会社 R LINK さんとコラボして教育事業企画を考えた生徒たちによる「こども大学」が開催されました。この企画を考えた4人の生徒たちは、校長に企画案を説明し、4年次の先生方に授業案を実演し、企画をブラッシュアップしていきましました。その上で、本校をめざす小学生を対象として、学校近隣の塾に宣伝をかけて「こども大学」の受講者を募集しました。



当日、4人の先生役の生徒たちは、アイスブレイクの後、それぞれ「立ってはなして物語考察会！」「マシュマロで発見！算数の魔法！」「自分の未来にワクワクしよう！」「目隠して折り紙？！未知の世界へ！」を担当し、18人の小学生に授業を行いました。小学生の保護者が見守る中、こども主体の体験のすばらしい授業が展開できました。株式会社 R LINK の皆様からも、私たちの斜め上をいく発想だ、というお褒めの言葉もいただきました。



物語考察会の授業風景



小学生が建てたマシュマロタワー